

箕面市立老人デイサービスセンター指定管理者候補者選定会議 議事概要

1 会議の開催状況

- (1)開催日時 平成26年10月17日(金)午後2時30分から
- (2)開催場所 豊能広域こども急病センター3階大会議室
- (3)出席者 小野会長(健康福祉部長)、宇治野副会長(総務部長)、
千葉構成員(市民部長)、明石構成員(有識者)、井上構成員(有識者)
- (4)事務局 健康福祉部次長 中井、高齢福祉課長 浅野
高齢福祉課長補佐 中村、高齢福祉課担当主査 川口

2 議事概要

(1)審査対象施設等について

- ①箕面市立西南老人デイサービスセンター
- ②スケジュール予定

日	内容
平成26年8月11日(月)	募集公示
平成26年8月28日(木)	応募説明会及び現地説明会の開催
平成26年9月5日(金)	応募書類の受付 9月10日(水)締め切り
平成26年10月17日(金)	選定会議
平成26年11月	仮協定締結
平成26年12月	市議会の承認を経て候補者を指定
平成27年4月1日(水)	指定管理開始

(2)審査基準について

事務局より選定基準及び配点についての説明を行った。

(3)提案内容のプレゼンテーションについて

応募者である特定非営利活動法人あそびりクラブより、応募書類によるプレゼンテーションを実施。

(4)ヒアリングにおける主な質疑について

(質問) 苦情マニュアルの受付からの流れについて。

(回答) 苦情の受付者は管理者になっており、利用する時の重要事項説明書に記載

しているが、管理者に限らず側にいるスタッフに伝えてもらえるような環境にできるよう努力している。口頭で言えない場合の、意見を入れる箱も設置している。

(質問)リスク回避のためのヒヤリ・ハットについて。

(回答)ヒヤリ・ハットがあった時に記録するノートがあり、内容については毎日のスタッフ会議で共有し、問題にすべきものについては法人内の会議へ上げて報告している。

(質問)重度の要介護者や他のデイサービスセンターが受け入れできない人を受け入れていることについて。

(回答)重度の人を受け入れるにあたり、配置基準よりスタッフを多く配置して対応している。介護保険が始まる前から、デイサービスの必要性を感じ、家族に寄り添い、希望に沿えるようデイサービスを運営してきた。その流れで、現在も特別な対応が必要な人を、できる限り受け入れたいと考えている。

(質問)スタッフの研修、スキルアップについて。

(回答)新人研修、OJTなどに加え、6カ月間研修日誌をつけるもの、介護における体の動かし方の研修などを行っている。在宅生活をどのようにしたら続けてもらえるか各スタッフが考えながら、研修を受講するようにしている。また、研修受講者はスタッフ会議で、研修内容や学んだ実技内容の報告を行い、施設全体でのレベルアップに努めている。

(質問)経営状況、過去3年間のうち1年間の赤字について。

(回答)新しい事業を実施する場合、NPO法人のため金融機関からの融資を受けられないことがあり、実施当初は赤字が出ることがある。過去3年間のうち1年の赤字は新規事業の立ち上げや他施設の設備投資などによる赤字である。

(質問)特定事項提案の10年間の指定期間について。

(回答)デイサービスを始めて15年が経過し、備品の老朽化が目立つようになっている。4、5年でなく10年間の長期であれば指定管理者が費用負担しての更新計画をたてることができる。備品を計画的に更新し、利用者の快適な環境を整えていきたいと考えている。

(質問) 会計管理の複数チェックはできているか。行政などからの指摘事項の有無について。

(回答) 個々の事業については、担当者と他のスタッフでチェックし毎月税理士事務所へ提出し、チェックしてもらっている。行政からの監査での指摘事項はなし。

(質問) 現在行っている自主事業について。

(回答) 延長サービスは、家族の希望により延長料金を設定し実施しており、現在利用者がいる。また、在宅ではなく施設に入所した人で西南デイを利用したいという希望があり、介護保険外(介護保険の報酬よりかなり低い料金設定になっている)で受け入れしている。また、利用者の希望を聞き、施設の休館日に日帰り旅行に出かけることもある。これらの自主事業は今後も続けていきたい。

(質問) 小学校の中にあるデイサービスとしてのメリットであると感じていることは何か。

(回答) 小学校の行事に出かけることで、子どもが好きな利用者は気分が明るくなるように楽しそうにしている。

先生のデイサービス研修を受け入れるため、先生に高齢者について学んでもらい、そのことを子どもたちに伝えてもらえるメリットがある。

「学校内にあるあの場所はなんだろう」と興味を持つ子どもたちもいて、3年生へ説明を行い4年生に見学に来てもらっている。

ボランティアクラブという学校のクラブ活動で来てもらう場面もある。

子どもたちに、介護について知ってもらえることが将来的にメリットであると感じている。

(質問) 介護保険の制度改正で要支援者のサービスが変わり、運営する側も影響があるとされているが、そのことについてどう考えているか。

(回答) 詳細についてはまだわかっていないが、機能訓練をしたいという要支援者もあり、個々の利用者の希望に沿った細かいサービスを行っていきたいと考えている。

(4) 各構成員の主な意見等

- ・日々の多くの行事により、利用者が活発になるように、工夫して運営されていることがよくわかった。
- ・法人全体の内容、人員配置が応募書類ではわかりにくかった。組織として、苦情対応やリスク管理について、組織的にどのように対応するのかももう少しはっきりさせておく必要がある。
- ・介護される人、家族の希望をかなえようとする姿勢、運営方針を評価した。

- ・会計の処理体制について、もっと対外的にわかりやすく示していった方がよい。
- ・特定事項提案に目新しいものがなかったので、今後は新しいことを積極的に行ってもらいたい。
- ・今後の介護保険制度改正について、前向きにとらえ対応していく姿勢が見られ、評価できる。
- ・できるだけ外出したり1泊旅行にチャレンジしたりと準備が大変なことにも積極的に取り組んでいる。

(5) 選定会議としての結論

応募書類の審査、プレゼンテーション、ヒアリング、評価点数に基づき、指定管理者として適していると判断し、特定非営利活動法人あそびりクラブを指定管理者候補者として決定した。